

武力攻撃事態、緊急対処事態の想定

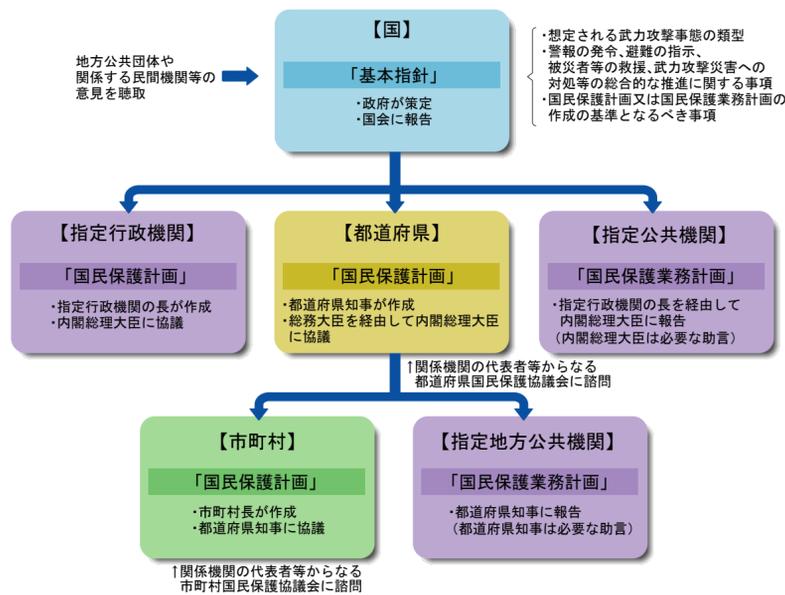
国が作成した「国民の保護に関する基本指針」で想定している事態は、次の図のとおりです。



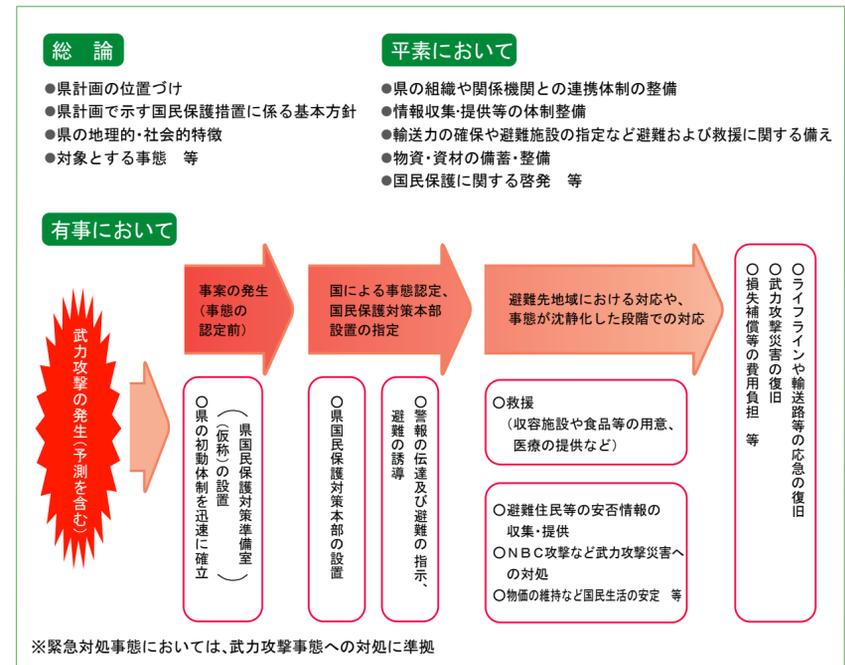
※武力攻撃事態……武力攻撃が発生した事態又は武力攻撃が発生する明白な危険が切迫していると認められるに至った事態
 ※緊急対処事態……武力攻撃の手段に準ずる手段を用いて多数の人を殺傷する行為が発生した事態又は当該行為が発生する明白な危険が切迫していると認められるに至った事態

国民の保護に関する基本指針及び国民保護計画等

武力攻撃事態等において、国民の保護のための措置を実施することに備えて、国は基本指針を、地方公共団体は国民保護計画をそれぞれ作成します。基本指針と国民保護計画等の関係は次の図のようになっています。



福岡県国民保護計画の構成



県の地理的、社会的特徴

- 本県は、九州の東北端に位置し、九州と本州を結ぶ交通の要衝を占め、朝鮮半島や中国大陸に近い位置にあります。
- 人口集積が高い福岡市、北九州市の2つの指定都市を抱えています。
- 道路は南北に九州縦貫自動車道・関門自動車道、東西に九州横断自動車道が交差しています。また、県東部では東九州自動車道の整備が進められています。
- 鉄道はJR九州が広域ネットワークを形成しており、福岡市営地下鉄、北九州モノレールなどの大量公共交通機関があります。また、山陽新幹線が博多まで運行されており、更に博多以南については、九州新幹線(鹿児島ルート)の整備を進めており、博多・新八代間は平成22年度末の完成を目指して建設が進められています。
- 空港は福岡空港と新北九州空港があり、港湾は北九州港、博多港など大小9つの港湾があります。
- 自衛隊や海上保安庁の施設が県内各地に所在しています。
- 石油コンビナート等特別防災区域に、県内の4地区が指定されています。